

令和2年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名		1 / 1
発言項目		要 旨		答弁者
1	ICT教育の取組状況の現状と今後の検討事項について	(1) 来年の1月から実施される生徒一人一台パソコン配備の取組状況について。 ① 市内小・中学校のネットワークや通信環境は現在どこまで整備されているのか。 ② 導入するパソコンの機種、システムなど、決まっていることはあるのか。 ③ パソコン以外の周辺機器導入の検討はされているのか。 ④ パソコンを使う授業内容の検討はされているのか。 (2) 教員の意見はどのように把握しているのか。どのような意見があるのか。 (3) 家庭への取組について。 ① タブレット操作など家庭で使用する場合には、保護者にも操作方法を熟知してもらう必要があるが、その取組の具体化はされているのか。 ② 通信費補助についてどのような方法で行うのか。対象者、金額、申請方法など。 (4) ICT支援員について。 ① 仕事内容について。 ア 各学校でどのようなサポートを依頼するのか。 イ 保守点検も含むのか。 ウ 教員との連携はどのようになるのか。 エ 令和3年1月からの導入となるのか。 オ 人数についての考え方は。	市長 教育長 関係部長	
2	校務のICT化について	(1) 現在取り組んでいる内容について伺う。 ① 情報を教員全体のものとするには新たなシステムが必要だが、スケジュールも含めどのように考えているのか。 ② 教員の意見をどのように把握しているのか。また、どのような意見があるのか。	市長 教育長 関係部長	
3	LGBTの方々や事実婚の方々が暮らしやすい環境作りについて	(1) 本年4月1日、新たに全国13の自治体がパートナーシップ証明制度をスタートさせた。パートナーシップ証明制度の導入を提案した際に「市民への周知を行う」との答弁だったが、どのような取組がされてきたのか。 ① 実施した内容と効果について。 ② 職員、市民からの意見はあったのか。 (2) 県内では浜松市が県下初の取組として本年4月に「パートナーシップ宣誓制度」をスタートさせた。同性に限らずトランスジェンダーの男性と性的少数者ではない女性とのカップルや事実婚カップルの方も対象にしている。SDGs元年と位置付けている当市でも先駆的にこの制度の導入をすべきと考えるが、いかがか。	市長 関係部長	